

任意団体 北の里浜 花のかけはしネットワーク

一般助成

1年目

実践

東日本大震災被災地の 海浜植物の地域交流による レスキュー活動



6月の海浜植物の観察会の様子

北海道で継続して
苗の育成を進める **1,200株**

植栽・交流会を
実施する

3カ所

活動の全体目標に
対する達成度

40%

課題

自律的に修復しつつある砂浜や湿地、海岸林が、大規模かつ急激な盛土によって埋め立てられるなど「減災・防災と自然環境の調和」が図られてない状況であること。

活動内容

広域ネットワークによる苗の育成と植栽活動を通して、海浜植物の重要性や多面的機能を行政や地域住民に普及啓発することで、地域の課題として認識・共有され、保全活動の多様性や体制強化につながっていく。また、次世代を担う小中高生に対しても、育苗・植栽活動を毎年行っていくことで海岸地域の生態系についての環境教育と防災教育を継続して行うことができ、持続的な被災地での取組みにしていけることができる。



北海道・東北で育成した
海浜植物の苗

今後の課題

震災を通してつながった人々の絆が薄まり、減災・防災の得難い知恵を共有し育てる機会を失いかねない状況にある。広域の市民参加による活動を通して継続的な環境教育と防災教育のモデルを構築・普及を進めていく。

成果と工夫した ポイント



成果

海浜植物のレスキュー活動として種子等を集めて北海道で約1,200株を育苗し、宮城県での育成苗と合わせて約1,300株を現地3ヶ所の適地及び近隣仮植地への移植を、双方の市民のべ200名によって行った。

工夫

想いを色褪せないものとするため、学び合いや心のふれあいを目的として双方の市民による交流会を併せて開催。